

## 2020年度 第2回 九大本番レベル模試 国語採点基準

1 文(文章)で解答する設問の答案については、次のA項の加点要素の合計から次のB項・C項の減点要素の合計を引いた得点をその設問の得点とします。ただし最低点は0点としマイナスの得点はつけません。

### A項

- a 以下の採点基準では、模範解答をいくつかの要素に分割し加点要素とします。答案中にその加点要素に相当する部分があれば、その加点要素に配点された得点を与えます。
- b ある加点要素は、その加点要素に配点された得点か0点で採点することを原則とします。たとえば5点配点された加点要素であれば5点か0点で採点することを原則とします。ただし、その加点要素中の部分点を認める場合もあります。その場合それぞれの採点基準の中に明記されています。
- c ある要素に加点するか否かが、他の要素と無関係に決まる場合と、他の要素との関係で決まる場合があります。前者の場合は、その要素を単独採点(独立採点)すると言いその旨必ず明記されています。後者の場合は、他の要素との関係について以下の採点基準で具体的に指示されています。

d 解答通りという条件がある場合はいかなる部分点も認めません。

### B項

- a 答案中に大きな誤読と判定される内容(語句)などがある場合は、その内容(語句)を減点要素として示されている場合もあります。
- b 加点要素でも減点要素でもない部分もあります。その部分は加点も減点もしません。
- C項 次に該当するものは、答案の形式上の不備として、一箇所につき1点の減点要素とします。
- a 誤字。漢字などの文字の明らかな誤りは誤字とします。

b 脱字。

c 文末の句点の脱落。

\* 字数指定のない場合、句点の脱落は誤字とし1点の減点とします。

d その他不適切と判断せざるをえない箇所。

e 不適切な文末処理。設問の問い方に対応していない形で答案の文末を結んでいない場合は、適切な文末処理が行われていないと見て形式上の不備による減点要素とします。たとえば「…とはどういうことか?」という問いに体言で結んでいないものなどは適切な文末処理が行われていないと見て形式上の不備とします。また、理由が問われているのに、「から」「ので」などで結んでいないものなども適切な文末処理が行われていないと見て形式上の不備と見ます。

\* ただし、「ことである」などの表現も「こと」「など」などで結んでいるものと同様適切な文末処理が行われていると見ます。また、「からである。」などの表現も「から」などで結んでいるものと同様適切な文末処理が行われていると見ます。また文末の表現を問わない場合もあります。その場合はその都度明記されています。

2

日本語の表現として不適切なものは程度に応じて減点します。

- 3 次の各項に該当するものは、部分点の要素があっても、その設問の得点を0点とします。
- a 答案が解答欄の欄外にはみ出しているもの。
  - b 一行の解答欄に二行以上書いた場合もその設問の得点を0点とします。
  - c 字数指定のある設問で、字数をオーバーしたもの。
  - d 答案の文章が最後まで完結していないもの。

- 4 古文あるいは漢文の訳を記述する設問の場合も以上に準じますが、文末の句点や文末の処理あるいは答案の完結にこだわらなくともよい場合はその都度明記されています。

2020年 第3回 九大本番レベル模試

文学部 第1問 (45点)

一 評論文 (文学部) (45点)

問1 7点

(模範解答例)

A①○1点

A②○1点

グローバルで開かれた人間社会を作ろうとすると逆に閉じたものに繋がり外部との対立が強まるというパラドックスが生じ

X 〈逆説⇕矛盾を含むこと〉○1点

A③○1点

それを脱しようとして

B①○1点

「地球」に行き着くことも

B②○1点

地球を超えたコミュニティを創造することもなかつたこと。

Y 〈逆説⇕矛盾を含むこと〉○1点 (7点)

【構造点】

・Xは、条件A内で、A①とA②が〈矛盾〉する要素となつて、〈逆説(パラドックス)⇕矛盾を含むこと〉の構造への評価である。ここでは、A①、A②の要素がそろっていれば、この構造が成立しているとみて1点加算。

X 〈逆説⇕矛盾を含むこと〉 A①+A② ○1点

・Yは、傍線部を、〈矛盾〉する二条件A、Bに引き裂いて説明する、〈逆説⇕矛盾を含むこと〉の構造への評価である。ここでは、条件A、Bの要素がそれぞれ一つ以上あれば、この構造の骨組みが成立しているとみなして1点加算。

Y 〈逆説⇕矛盾を含むこと〉 Aの要素+Bの要素 ○1点

◎ 採点のポイント

※ A、Bは条件同士において、また各条件内の要素同士においても原則的に部分採点可能とする。(5点満点)

※ ただし、【構造点】X・Yは、右に示した要素を組み合わせた意味内容が成立している場合にのみ加点する。(2点満点)

A 「グローバルで開かれた人間社会を作ろうとする」と逆に閉じたものに繋がり外部との対立が強まるというパラドックスが生じ、それを脱しようとして、」(3点)

※ 傍線部を説明するための一方の条件。

① 「グローバルで開かれた人間社会を作ろうとする」の要素に1点

○ 「グローバルでオープンなコミュニティを作ろう」と「グローバルで開かれた社会をつくろう」とすればするほど」などでも可。

× 「グローバルで開かれた人間社会を作ろうとする」のニュアンス成分が入っていないければ×0点。

② 「逆に閉じたものに繋がり外部との対立が強まるというパラドックスが生じ、」の要素に1点。

○ 「反対に閉じたものとながり、外部との新たな対立が生まれるというパラドックスが生じ、」「却ってクローズドなものとながり外部との対立が強化されるという逆説が生じ、」などでも可。

× 「逆に閉じたものにつながる」「外部との対立が強まる」「パラドックス」の三成分がそろっていないければ×0点。

④ 「それを脱しようとして、」の要素に1点。

○ 「そこから脱出しようとするが、」「それを克服しようとして、」などでも可。

× 「それ(非パラドックス)を脱しようとする」のニュアンスの成分が入っていないければ×0点。

B 『地球』に行き着くことも、地球を超えたコミュニティを創造することもなかったこと。(2点)

※ 傍線部を説明するための、Aとは〈矛盾〉する他方の条件。

① 『地球』に行き着くことも、「」の要素に1点。

○ 『地球』にまで到達することも、「『地球』という次元にいたることも、」などでも可。

× 『地球』に行き着く(の否定—この否定の成分はB②と共有される)のニュアンスの成分が入っていないければ×0点。

② 「地球を超えたコミュニティを創造することもなかったこと。」の要素に1点。

- 「地球を超越したコミュニティを創りだすこともなかったこと。」「地球を凌駕した共同体を創出することもなかったこと。」などでも可。
- × 「地球を超えたコミュニティの創造の否定」のニュアンスの成分が入っていないければ×0点。

問2 6点

(模範解答例)

A ○1点

ある種の村おこしは、

B ○1点

グローバルかナショナルかの対立を越え、

C ① ○1点

C ② ○1点

グローバル化して無限に広げるのではなく、

村という場所に境界を限り、狭める方向性

X 〈分析〓分けること〉 ○1点 Y 〈分析〓分けること〉 ○1点

を重視していること。(6点)

【構造点】

- ・ Xは、条件C内で、C ①とC ②の〈notP～butQ〉の構文を構成する〈矛盾〉しない二要素に〈分析〓分けること〉する構造への評価である——〈notP～butQ〉は、例えば〈男じゃないよ、女だよ〉のように否定の成分(not)が入ることによって、〈男じゃないよ〓女〉となって〈矛盾〉しない二要素に〈分析〓分けること〉する構造を構成する。ちなみに「」は、〈notP〉〓C ①、〈butQ〉〓C ②である——「」ではC ①、C ②がそろっていれば、この構造が成立しているとみて1点加点。
- X 〈分析〓分けること〉 C ①+C ② ○1点

- ・ Yは、傍線部を説明すべく、条件Aを、〈矛盾〉しない二条件B、Cに〈分析〓分けること〉する構造への評価である——この場合、条件Aを、大枠で、〈notP～butQ〉の構文を構成する二条件B、Cに〈分析〓分けること〉する構造とみる「」とすべき。〈notP〉〓B、〈butQ〉〓Cである。「」では、条件A、Bがあり、条件Cの要素が一つ以上あれば、この構造の骨組みが成立しているとみなして1点加点。

Y 〈分析〓分けること〉 A+B+Cの要素 ○1点

◎ 採点のポイント

※ A、B、Cは条件同士において、また条件C内では要素同士においても、原則的に部

分採点可能とする。(4点満点)

※ただし、【構造点】X・Yは、右に示した、条件、要素を組み合わせた意味内容が成立している場合のみ加点する。(2点満点)

A 「ある種の村おこしは、」(1点)

※ 傍線部を説明するための話題提示の条件。

○ 「ある種の村おこしなどは、」「村おこしのある種のもは、」などでも可。

× 「ある種の村おこし」のニュアンスの成分が入っていないければ×0点。

B 「グローバルかナショナルかの対立を越え、」(1点)

※ 傍線部を説明するための一方の(notP)条件。

○ 「グローバルかナショナルかの対立を無効化し、」「グローバルとナショナルの対立を無意味化し、」などでも可。

× 「グローバルとナショナルの対立の否定」のニュアンスの成分が入っていないければ×0点。

C 「グローバル化して無限に広げるのではなく、村という場所に境界を限り、狭める方向性を重視していること。」(2点)

※ 傍線部を説明するための他方の(butQ)条件。

① 「グローバル化して無限に広げるのではなく、」の要素に1点。

○ 「グローバル化を無限に拡大するのではなく、」「一方的にグローバル化を押し進めるのではなく、」などでも可。

× 「無限のグローバル化の否定」のニュアンスの成分が入っていないければ×0点。

② 「村という場所に境界を限り、狭める方向性を重視していること。」の要素に1点。

○ 「村を境界として限定し、狭める方向に重点を置いていること。」「村を場所的境界として限定し、狭める方向性が重要だとしていること。」などでも可。

× 「村(という場所)を境界として限定」「狭める方向性の重視」のニュアンスの二成分がそろっていないければ×0点。境界が「村」であることが必要

問3 7点

(模範解答例)

A○1点

ホモ・サピエンスは

B ○1点

性の対象に関して余り区別しなかったために生物学的に一種になる一方で、

C ○1点 X 〈逆説||矛盾を含むこと〉 ○1点

近親相姦の欲望を持ち、

D ○1点

D ② ○1点

新奇さや異種に向かったり、近親者に向かったりする両極があるという、人間以外の生

物には認められない特徴を持つから。 Y 〈総合||まとめること〉 ○1点

(7点)

#### 【構造点】

・ Xは、傍線部の理由説明をすべく、条件Aを、〈矛盾〉する二条件B、Cに引き裂いて説明して行く〈逆説||矛盾を含むこと〉の構造への評価である。ここでは、条件A、B、Cがそろっていれば、この仕組みの骨組みは成立していると思なし1点加点。

X 〈逆説||矛盾を含むこと〉 A + B + C ○1点

・ Yは、B、CをDに〈総合||まとめること〉する構造への評価である。ここでは、条件B、Cと、条件Dの要素が二つ以上あれば、この仕組みの骨組みは成立していると思なし1点加点。

Y 〈総合||まとめること〉 B + C + Dの要素 ○1点

#### ◎ 採点のポイント

※ A、B、C、Dは条件同士において、また条件D内の要素同士においても原則的に部分採点可能とする。(5点満点)

※ ただし、【構造点】X・Yは、右に示した、条件、要素を組み合わせた意味内容が成立している場合にのみ加点する。(2点満点)

A 「ホモ・サピエンスは」(1点)

※ 傍線部を説明するための主体明示の条件。

× 「ホモ・サピエンス」の成分が入っていなければ×0点。

B 「性の対象に関して余り区別しなかったために生物学的に一種になる一方で、」(1点)

※ 傍線部の理由説明をすべく、Aを説明して行く一方の条件。

○ 「性の対象を厳格に区別することをしなかったために、生物学的な一種化が進行

する一方で、「性対象の区別があまり厳しくなかったために、生物として一種になる傾向を強める一方で、」などでも可。

× 「性の対象の厳格な区別の否定」「生物学的な一種化」のニュアンスの二成分が入っていないければ×0点。

C 「近親相姦の欲望を持ち、」(1点)

※ 傍線部の説明をすべく、Aを説明して行く、Bとは〈矛盾〉する他方の条件。

○ 「インセストの欲望を持ち、」「近親者への性的欲望を有し、」などでも可。

× 「近親相姦の欲望」のニュアンスの成分が入っていないければ×0点。

D 「新奇さや異種に向かったり、近親者に向かったりする両極があるという、人間以外の生物には認められない特徴を持つから。」(2点)

※ B、Cをまとめて結論づける条件。

① 「新奇さや異種に向かったり、近親者に向かったりする両極があるという、」の要素に1点。

○ 「珍しさや異なる種に向かったり、家族内部に向かったりする両極端を示し、」「見慣れぬ者や異質な種に向かっていったり、近しい者に向かうという双極性を呈し、」などでも可。

× 「新奇さや異種にむかう」「近親者に向かう」「両極」のニュアンスの三成分が入っていないければ×0点。「新奇さ」「異種」どちらのニュアンスも必要

② 「人間以外の生物には認められない特徴を持つから。」の要素に1点。

○ 「人間という生物にしか認められない特性を持つから。」「人間以外には見られない生物的特徴を持つから。」などでも可。

× 「人間以外の生物には認められない特徴」のニュアンスの成分が入っていないければ×0点。

問4 7点

(模範解答例)

A①○1点

現代の情報社会にあつて、近年の若い人たちは、

A②○1点 SNSやLINEで、

A③○1点 少数のグル

ープ内で即座に反応するように縛られており、

B①○1点

B②○1点



原理的にオープンなはずの ネット上のコミュニティが

○1点

X〈逆説⇌矛盾を含むこと〉○1点

実は非常に閉じられたものとなっているから。(7点)

【構造点】

・ Xは、傍線部を説明すべく、具体的な話題のAを、B、Cの〈矛盾〉する二条件に引き裂いて説明して行く〈逆説⇌矛盾を含むこと〉の構造への評価である。ここでは、条件A、Bの要素がそれぞれ一つ以上と、条件Cがそろっていれば、この構造の骨組みは成立していると思なし1点加算。

X〈逆説⇌矛盾を含むこと〉 Aの要素+Bの要素+C ○1点

◎ 採点のポイント

※ A、B、Cは条件同士において、また条件A、B内では要素同士においても原則的に部分採点可能とする。(6点満点)

※ ただし、【構造点】Xは、右に示した、条件、要素の組み合わせの意味内容が成立している場合にのみ加算する。(1点満点)

A 「現代の情報社会にあつて、近年の若い人たちは、SNSやLINEで、少数のグループ内で即座に反応するように縛られており、」(3点)

※ 傍線部の理由説明をするための具体的な話題提示の条件。

① 「現代の情報社会にあつて、近年の若い人たちは、」の要素に1点。

○ 「現代情報社会においては、最近の若者たちは、」情報化された現代社会では、現代的な若者たちは、」などでも可。

× 「現代の情報社会」「近年の若者たち」のニュアンスの二成分がそろっていないければ×0点。

② 「SNSやLINEで、」の要素に1点。

○ 「SNSやLINE上で、」「ソーシャルネットワーク上で、」などでも可。

× 「SNSやLINE」に相当する成分が入っていないと×0点。

③ 「少数のグループ内で即座に反応するように縛られており、」の要素に1点。

○ 「少数のグループの人間だけ即座の反応を求められており、で」「グループの少数の人間内で即座に対応するように拘束されており、」などでも可。

× 「少数のグループ内」「即座の反応に縛られている」の二成分がそろっていないければ×0点。

B 「原理的にオープンなはずのネット上のコミュニティが」(2点)

※ 傍線部を説明すべく、Aの構造を説明して行く一方の条件。

① 「原理的にオープンなはずの」の要素に1点。

○ 「原則的にはオープンなはずの」「原理的に開かれているはずの」などでも可。

× 「原理的にオープン」のニュアンスの成分が入っていないければ×0点。

② 「ネット上のコミュニティが」の「要素に1点。

○ 「インターネット上のコミュニティが」「ネット空間の共同体が」などでも可。

× 「ネット上のコミュニティ」のニュアンスの成分が入っていないければ×0点。  
ネット上／コミュニティのどちらのニュアンスも必要

C 「実は非常に閉じられたものとなっているから。」(1点)

※ 傍線部を説明すべく、Aの構造を説明していく、Bとは〈矛盾〉する他方の条件。

○ 「実際には極めて閉じられたものであるから。」「見かけと違って非常にクローズドなものとなっているから。」などでも可。

× 「非常に閉じられたもの」のニュアンスの成分が入っていないければ×0点。

問5 5点

(模範解答例)

A ○1点

自然数や、一つのシニフィアンが次のそれを指示する連鎖、次の対象に向かう欲望、

B ○1点

X 〈分析〓分けること〉 ○1点

そして資本の増殖を求める現代資本主義などの

C ○1点

オープンシステムが、際限なく一方方向に開かれていること。(5点)

Y 〈共通性の抽象による総合〓共通性を引き出してまとめること〓帰納〉 ○1点

【構造点】

・ Xは、傍線部を説明するために、〈矛盾〉しない二条件A、Bに〈分析〓分けること〉してゆく構造への評価である。ここでは、条件A、Bがそろっていれば、この構造は成立しているとして1点加算。

X 〈分析〓分けること〉 A+B ○1点

・ Yは、条件A、Bから、〈共通性〉を引き出してCにまとめる、〈共通性の抽象による総合〓共通性を引き出してまとめること〓帰納〉の構造への評価である。ここでは、A、B、Cがそろっていれば、この構造は成立しているとして1点加算。

Y 〈共通性の抽象による総合〓共通性を引き出してまとめること〓帰納〉 A+B+C

○1点

◎ 採点のポイント

※ A、B、Cは条件同士において、原則的に部分採点可能とする。(3点満点)

※ ただし、【構造点】 $X \cdot Y$ は、右に示した条件を組み合わせた意味内容が成立している場合にのみ加点する。(2点満点)

A 「自然数や、一つのシニフィアンが次のそれを指示する連鎖、次の対象に向かう欲望、」  
(3点)

※ 傍線部を説明するための一方の条件。

○ 「自然数や、シニフィアンが必ず次のシニフィアンを指し示すような連鎖、次々に対象を更新してゆく欲望」、「自然数、シニフィアンが連鎖的に次のシニフィアンを指示するシステム、そして、現在あるものに満足せず次の対象に向かう欲望」などでも可。

× 「自然数」「シニフィアンの連鎖」「次の対象に向かう欲望」のニュアンスのうちの二成分がそろっていないければ×0点。

B 「そして資本の増殖を求める現代資本主義などの」(1点)

※ 傍線部を説明するための、Aとは〈矛盾〉しない他方の条件。

○ 「また資本の自己増殖を追求する現代資本主義」「さらに資本の増殖を目的とする現代の資本主義」などでも可。

× 「資本の増殖を追求する現代資本主義」のニュアンスの成分が入っていないければ×0点

C 「オープンシステムが、際限なく一方方向に開かれていること。」「(1点)

※ B、Cから〈共通性〉を引き出してまとめ。結論づける条件。

○ 「オープンシステムが無限に増えていく方向に開かれていること。」「オープンシステムが限りなく開かれていること。」「などでも可。

× 「オープンシステムが際限なく開かれている」のニュアンスの成分が入っていないければ×0点。

問6 6点

(模範解答例)

A①〇1点

A②〇1点

花びらの数や、植物の花や実の螺旋の数などに現れ、隣り合う数字が黄金比に収束して

行くフィボナッチ数、

B〇1点

そして錬金術でのフラスコ内の変容や金の変容に喩えられる、変容する富などの

X〈分析〓分けること〉〇1点

C〇1点

有機的構造にあるものが空間的に閉じていること。

Y〈共通性の抽象による総合〓共通性を引き出してまとめること〓帰納〉〇1点 (6点)

【構造点】

・Xは、傍線部を説明すべく、〈矛盾〉しない二条件A、Bに〈分析〓分けること〉してゆく構造への評価である。ここではAの要素が一つ以上と、条件Bあれば、この構造の骨組みが成立しているとみなして1点加算。

X〈分析〓分けること〉 Aの要素+B 〇1点

・Yは、条件A、Bから、〈共通性〉を引き出してCにまとめる、〈共通性の抽象による総合〓共通性を引き出してまとめること〓帰納〉の構造への評価である。ここでは、条件Aの要素が一つ以上と、条件B、Cがあれば、この構造の骨組みは成立しているとして1点加算。

Y〈共通性の抽象による総合〓共通性を引き出してまとめること〓帰納〉 Aの要素+B+C 〇1点

◎ 採点のポイント

※ A、B、Cは条件同士においても、また各条件A内では要素同士においても原則的に部分採点可能とする。(4点満点)

※ ただし、【構造点】X・Yは、右に示した、条件、要素を組み合わせた意味内容が成立している場合にのみ加算する。(2点満点)

A 「花びらの数や、植物の花や実の螺旋の数などに現れ、隣り合う数字が黄金比に収束して行くフィボナッチ数、」(2点)

※ 傍線部を説明するための一方の条件。

- ① 「花びらの数や、植物の花や実の螺旋の数などに現れ、」の要素に1点。
- 「植物の花びらの数や、花や実の螺旋の数などに現れる、」「植物の花びらや花や実の螺旋の数など自然界によく現れる」などでも可。
- × 「花びらの数、あるいは植物の花や実の螺旋の数」のいずれかの成分が入っていないければ×0点。
- ② 「隣り合う数字が黄金比に収束して行くフィボナッチ数、」の要素に1点。
- 「隣接する数が黄金比に収斂して行くフィボナッチ数、」「隣り合う数が黄金比に近づいていくフィボナッチ数、」などでも可。
- × 「隣り合う数字が黄金比に収束して行くフィボナッチ数」のニュアンスの成分が入っていないければ×0点。

B 「そして錬金術でのフラスコ内の変容や金の変容に喩えられる、変容する富などの」(1点)

- ※ 傍線部を説明するための、Aとは〈矛盾〉しない他方の条件。
- 「また錬金術におけるフラスコの中の変容や、金への変容になぞらえられる、変容によって現れる富などの」「そして錬金術におけるフラスコ内での変容などに喩えられる、変容としての富などの」などでも可。
- × 「錬金術でのフラスコ内の変容、または金への変容(いずれかでよい。ただし『フラスコ内』は不可欠)」「変容する富」のニュアンスの二成分が入っていないければ×0点。

C 「有機的構造にあるものが空間的に閉じていること。」(1点)

- ※ B、Cから〈共通性〉を引き出してまとめ。結論づける条件。
- 「有機的な世界にあるものが閉じた空間にあること。」「有機的構造をもつもの空間を閉じるように存在していること。」などでも可。
- × 「有機的」「空間的に閉じている」のニュアンスの二成分が入っていないければ×0点。

問7

(模範解答例)

A ○ 1点

西洋的な内面化を経て開いていたものから閉じたものに変化したというのではなく

B ① ○ 1点

B ② ○ 1点

本質的に「開いて閉じている」逆説的なあり方であり、だからこそ内外が符合したり、  
B③○1点 X (分析||分けること) ○1点

偶然が意味あるパターンをなしてあらわれるという

CO1点 Y (総合||まとめること) ○1点

こころの捉え方。(7点)

【構造点】

・Xは、傍線部を、〈notP-butQ〉の構文を構成する〈矛盾〉しない二条件A、Bに〈分析||分けること〉として説明してゆく構造への評価である。ここでは、条件A、Bの要素が、それぞれ一つ以上あれば、この構造の骨組みが成立しているとみなして1点加算。

X (分析||分けること) Aの要素+Bの要素 ○1点

・Yは、条件A、Bを、条件Cに〈総合||まとめること〉する構造への評価である。ここでは、条件A、Bの要素がそれぞれ一つ以上と、条件Cがあれば、この構造の骨組みは成立しているとみなして1点加算。  
Y (総合||まとめること) Aの要素+Bの要素+C ○1点

◎ 採点のポイント

※ A、B、Cは条件同士において、また条件B内では要素同士においても原則的に部分採点可能とする。(5点満点)

※ ただし、【構造点】X・Yは、右に示した条件、要素を組み合わせた意味内容が成立している場合にのみ加算する。(2点満点)

A 「西洋的な内面化を経て開いていたものから閉じたものに変化したというのではなく、」(1点)

※ 傍線部を説明するための、〈notP〉の条件。

○ 「西洋的な発想による内面化を経てオープンなものからクローズドなものに変容したという単純なことではなく、」「西洋の影響による内面化を經由して開いていたものが閉じたもの変わったというのではなく、」などでも可。

× 「西洋的な内面化」「開いたもの↓閉じたもの」の否定」のニュアンスの二成分がそろっていないければ×0点。

B 「本質的に『開いて閉じている』逆説的なあり方であり、だからこそ内外が符合したり、偶然が意味あるパターンをなしてあらわれるという」(3点)

※ 傍線部を説明するための、〈butQ〉の条件。

① 「本質的に『開いて閉じている』逆説的なあり方であり、」の要素に1点。

○ 「本源的に『開いて閉じている』パラドキシカルなあり方であり、」「元来『開いて閉じている』逆理のあり方であり、」などでも可。

× 「本質的に『開いて閉じている』「逆説的なあり方」のニュアンスの二成分がそろっていないければ×0点。「本質的に」は「性質として」などでも可

② 「だからこそ内外が符合したり、」の要素に1点。

○ 「それゆえに中と外の現実が符合していたり、」「それだからこそ心の内と外とが照応していたり、」などでも可。

× 「内外の符合」のニュアンスの成分が入っていないければ×0点。

③ 「偶然が意味あるパターンをなしてあらわれるという」の要素に1点。

○ 「偶然のように生じてくる現実の出来事が意味のあるパターンをなしているという」「偶然的な出来事が実は意味あるパターンをなしているという」などでも可。

× 「偶然が意味のあるパターンをなす」のニュアンスの成分が入っていないければ×0点。

C 「「」の捉え方。」(1点)

※ B、Cをまとめる条件。

○ 「「」の把握の仕方。」「「」を認識する仕方。」

× 「「」の捉え方」のニュアンスの成分が入っていないければ×0点。

2020年 第3回 九大本番レベル模試  
文学部 第3問 (30点)

問1(各3点×3)

a (1点) b (2点)

問1・①・模範解答

雲居雁の高貴な家柄は弘徽殿女御に劣るはずはないが。(3点)

【各部の採点】 3点満点。加点ポイント2箇所。

a 「雲居雁は弘徽殿女御に劣るはずはないが」…2点。「雲居雁は弘徽殿女御に劣るはずがないが」のように両者のという比較がなされていること。  
加えて「はず」のような「べし」の当然の意+逆接。「劣るはずはないが」だけなら1点。

b 「高貴な家柄」……………1点。「高貴な身分」でも可。「身分・家柄」だけではダメ。

a (2点) b (1点)

問1・②・模範解答

男子とは仲良くしてはいけないものだ。(3点)

【各部の採点】 3点満点。加点ポイント2箇所。

a 「仲良くし」……………2点。「仲良くする」「親密になる」の内容。「油断する」も可。「打ち解けて」のままだとダメ。  
b 「いけないものだ」……………1点。禁止+断定。完答。

a (1点) b (1点) c (1点) #

問1・③・模範解答

離れ離れになっては、姫君に逢えないことを落ち着いた心もなく思っているようである。(3点)

【各部の採点】 3点満点。加点ポイント2箇所。

a 「離れ離れになっては」……………1点。(夕霧と雲居雁が)離されてしまった場合という内容。  
b 「姫君に逢えないことを」……………1点。指示語「これ」の内容の明示。「雲居雁と逢うことができないことを」という内容。



c 「落ち着いた心もなく思っているようである」……1点。「静心なく」が「落ち着いた心もなく」+「べき」が推量で訳してあること。

## 問2 4点

a (2点)

b (1点)

c (1点)

### 問2・模範解答

自分の娘である雲居雁を按察大納言に任せるのは気に入らないという心情。

(4点)

【各部の採点】 4点満点。加点ポイント3箇所。

a 「自分の娘である雲居雁を按察大納言に任せる」……2点。人物関係の説明。完答。

b 「気に入らない」……1点。「つまらない」「嫌だ」「気に入らない」「納得できない」という「あいなし」の解釈。

c 「という心情」……1点。「くという心情」のような文末処理。ただしこの箇所だけでは加点無し。

## 問3 アしか イね(ざれ) (各2点)

## 問4 4点

### 問4・模範解答

a (2点)

b (1点)

c (1点)

内大臣が、雲居雁を、現在の北の方の子の弘徽殿女御よりも低く思っていたということ。(4点)

【各部の採点】 4点満点。加点ポイント3箇所。

a 「内大臣が、雲居雁を、現在の北の方の子の弘徽殿女御よりも」……2点。「内大臣が弘徽殿女御よりも雲居雁を」という三者の人物関係の説明。「内大臣」が抜けていた場合マインス1点

b 「低く思っていた」……1点。「低く扱う」という内容。

c 「と」ということ……1点。文末処理。ただしここだけ正解は加点無し。

## 問5 4点

**問5・模範解答**

a (1点)

b (2点)

幼い子供同士の関係であるから、ずっと仲良くしてきた二人を急に離れ離れにする必要はな

c (1点)

いと考えていた。(4点)

**【各部の採点】 4点満点。 加点ポイント 3箇所。**

a 「幼い子供同士の関係であるから」：1点。幼い者の男女関係であるから交際を良しとする理由説明。

b 「ずっと仲良くしてきた二人を急に離れ離れにする必要はない」……2点。二人をこのまま仲良くさせておいてかまわないという内容。

c 「と考えていた」：1点。文末処理。ただしここだけ正解は加点無し。

**問6 5点**

**問6・模範解答**

a (1点)

b (2点)

c (2点)

雲居雁に仕える女房たちの、夕霧と雲居雁が恋文をやり取りしていることをほかの人に漏ら

すつもりはないという態度。(5点)

**【各部の採点】 5点満点。 加点ポイント 3箇所。**

a 「雲居雁に仕える女房たちの」という態度」：1点。設問に応じた答え方。ただし、この箇所だけ正解だと加点は無し。「女房」があれば○

b 「夕霧と雲居雁が恋文をやり取りしていること」……2点。「何について」という具体的な説明。

c 「ほかの人に漏らすつもりはない」：2点。女房達の決意の具体的説明。

2020年 第3回 九大本番レベル模試

文学部 第2問 (30点)

#  
問1 (各2点×4)

問1・①・模範解答 (1点) (1点) (2点)  
行方も知れずいなくなってしまった。

【各部の採点】 2点満点。加ポイント2箇所。

- a 「行方も知れず」……………1点。「行方不明」の内容。完答。  
b 「いなくなってしまった。」……………1点 「どこかに居なくなる」＋完了の意味。完答。

問1・②・模範解答 (1点) (1点) (2点)  
地蔵菩薩に何も手を施すこともできないでいた。

【各部の採点】 2点満点。加ポイント2箇所。

- a 「地蔵菩薩に」……………1点。手を施す対象である「地蔵菩薩に」の明示。  
b 「何も手を施すこともできないでいた」……………1点 「何もできない・手を施せない」＋存続の意。完答。

問1・③・模範解答 (1点) (1点) (2点)  
かろうじて、地蔵菩薩の木製の本体だけを作り申し上げて、

【各部の採点】 2点満点。加ポイント2箇所。

- a 「かろうじて」……………1点。「やっこのこと」の意。  
b 「地蔵菩薩の木製の本体だけを作り申し上げて、」……………1点 「だけ」＋「作る」＋「く申し上げる(謙譲の補助動詞)」の三条件がそろっていること。完答。

問1・④・模範解答 (1点) (1点) (2点)  
午後二時ごろに急に専当法師の入っている棺桶が動く。

【各部の採点】 2点満点。加ポイント2箇所。

- a 「午後二時ごろに」……………1点。「午後二時頃・「午後一時～二時の間  
ぐらゐに」などの解釈。
- b 「急に専当法師の入っている棺桶が動く」……………1点 「急にこの棺(ひつぎ)が動く」の  
内容。

問2 い<sub>ニ</sub>オ      ろ<sub>ニ</sub>ア      は<sub>ニ</sub>ウ      に<sub>ニ</sub>イ      ほ<sub>ニ</sub>キ  
(各1点)

問3 え (4点)

問4 (9点)

問4・1・模範解答

- a (2点)      b (1点)      c (1点)  
制作を頼んだ別当がいなくなつて困っている仏師たちに食べ物求めて食べさせ、地蔵の木  
作をさせたことに対して、恩義を感じた地蔵菩薩が専当法師を蘇生させた。(9点)
- d (3点)      e (2点)

【各部の採点】9点。加点ポイント5箇所。

- a 「制作を頼んだ別当がいなくなつて困っている仏師たちに」……………2点。仏師たちの現状が  
具体的に書いてあること。胞子たちの説明  
として正しいものが一つでもあれば○
- b 「食べ物を求めて食べさせ」……………1点 「食べ物求めて食べさせ」という内容。食べ物  
を求めた、もしくは与えたが書いてあれば○
- c 「地蔵の木作をさせた」……………1点。「地蔵建立の助けをした」という内容。
- d 「恩義を感じた地蔵菩薩」……………3点。「地蔵菩薩が感謝の念を抱いた」という内容
- e 「専当法師を蘇生させた。」……………2点。「法師を生き返らせた」という内容。

問5 ウ (4点)

2020年 第三回 九大本番レベル模試

文学部 第4問 (45点)

※要素別に採点する場合、各要素の最低点は0点とする(減点の結果、ある要素が0点以下になってもその要素は0点)。

問1

基準 配点:8点(4点×2)

■形式上の不備

・( ) の有無は問わない。

■模範解答

①(才) ③(イ)

■採点方法

・①・③それぞれ別々に採点。  
・解答例のみ正解。

問2

基準 配点:7点

■形式上の不備

・一字でもひらがな以外の文字を用いているものは**全体0点**。  
・「願↓公↓坐↓在、人↓楽↓不↓使」の語順で読んでいないものは**全体0点**。  
・句読点の有無は不問。

■模範解答

A 2点

こころざしにあれば、

B 2点

ひとをして

C 3点

たのしみやしむ〔と〕

(別解)

A 2点

「こころづき」であれば、

B 2点

ひとをして

C 3点

たのしからざらしむ」と「

## ■採点方法 各要素単独採点

要素A 「顧公在坐」の読み方：こころづきであれば＝2点

・「こころづき」ならば「も可とする」。

・「こころづき」にあり「こころづき」にあり「こころづき」にあるは要素A 1点減点。

・「こころづ」の仮名づかいは「こかう」「こくわう」と間違っている場合は要素A 1点減点。

・他は一字でも誤りがあれば要素A 加点なし(要素A＝0点)。

要素B 「人」の読み方：ひとをして＝2点

・解答例のみ正解。一字でも誤りがあれば要素B 加点なし。

要素C 「使く不楽」の読み方：「たのしまざらしむ」と「」＝3点

または「たのしからざらしむ」と「」＝3点

・文末の「と」の有無は不問。

・「たのしめざらしむ」と「」は要素C 1点減点。

・他は一字でも誤りがあれば要素C 加点なし(要素C＝0点)。

## ■採点例1

こころづきにありて、ひとをしてらくせざらしむ

要素A・1点+要素B・2点+要素C・0点＝3点

## ■採点例2

こころづきであれば、ひとをしてたのしまざらしむ

要素A・2点+要素B・2点+要素C・3点＝7点

問3

基準 配点：3点(1点×3)

■形式上の不備

- ・すべてひらがなで記述していないものはそれぞれ0点。

■模範解答

(a) ひととなり [は]

(b) ここをもつ (つ) て

(c) こたへ (え) て

■採点方法

- ・(a) の送り仮名「は」の有無は問わない。
- ・解答例のみ正解。

問4

基準 配点：：8点

■模範解答 ※同意表現可。ニュアンスが合っていれば許容。

A 1点

もし

B 1点

提言が

C 3点

受け容れられ採用されると

D 1点

必ずその提言を

E 2点

皇帝が考えたことにした。

■採点方法 各要素単独採点

要素A「若」の訳 もし 1点

- ・「もしも」も可。

- ・漢字交じりの「若し」は不可。要素A加点数なし(要素A=0点)。

要素B「容れ用いられ」の主語の補い 意見が 1点

- ・「意見」は「(政治のやり方についての、時宜にかなった) 提言」「政策」「進言」なども可。

要素C「容れ用いられれば」の解釈 受け容れられ採用されると＝3点

- ・受身の対象「皇帝が(帝が・孫権が)を補っても可。ただし誤ったものを補っている場合は**要素B1点減点**。

・「見」が受身を表す語であることが表現できておらず、受身の助動詞「れる・られる」が全く用いられていないものは**要素B2点減点**。

たとえば「皇帝が(その意見を)受け容れ用いられれば」のような答えは、趣旨は解答例と同じだが受身表現がないので**要素B2点減点**とする。

- ・「受け入れられ用いられ」は「容用」をまとめて「採用され」と訳しても可。
- ・「受け容れ用いられ」のように、受身の助動詞「れる・られる」を、「用いる」または「受け容れる」のどちらか一方にしかつけていないものは**要素B1点減点**。
- ・「受け容れ」は「受け入れ」「取り入れる」「容れる」「受容する」「許容する」も可。
- ・「用いる」は「採用する」「使う」も可。
- ・「〜と」「〜は」「〜といつも」「〜と必ず」「〜なども可」。

■「則(すなはち)」は訳出しないのが望ましいが、「すべし」「そのまま」「そこで」の意で訳出しているものは減点しない。明らかに誤った訳になっているものは**全体から1点減点**。

要素D「之を」の解釈 その提言を＝1点

- ・要素Bにおいて、「意見が」「提言が」などを補っている場合は、単に「それを」「これを」としても可とする。
- ・要素Bにおいて「意見が」「提言が」などを補っていない場合は、単に「それを」「これを」としているものは**要素D加点なし(要素D＝0点)**。

要素E「上に帰す」の解釈 皇帝が考えたことにした＝2点

- ・「皇帝」「は」「帝」「孫権」も可。
- ・「王」は**要素E1点減点**。
- ・「皇帝(帝・孫権)」を含まない答えは**要素E加点なし(要素E＝0点)**。
- ・「帰す」をそのまま「帰す」「帰した」としているものは**要素E加点なし(要素E＝0点)**。
- ・「帰属させた」は可とする。
- ・「(その意見を) 皇帝が言ったことにした」「(その意見を) 皇帝自らが考えついたことにした」という趣旨の答案であれば可。

## 問5

基準 配点：6点



■内容上の不備

- ・「**顧雍**」「**顧**」「**雍**」のみ、「**雍**」のみでも可）に全く触れていない**答案は全体×（全体0点）**。

■模範解答 同意表現可。ニュアンスが合っていれば可とする。

A 2点

法令や刑罰を簡略にするべきだという

B 1点

張昭の提言に、

C 1点

信頼している

D 2点

顧雍も賛成したから。

■採点方法 各要素単独採点

要素A 法令や刑罰を簡略にすべきだという 2点

- ・「現在の」法令や刑罰が繁雑すぎる「わざわざわしい・重すぎる」「**という内容でも可**」。
- ・「法令（法律・法）」が欠けているものは**要素A 1点減点**。
- ・「刑罰」が欠けているものは**要素A 1点減点**。
- ・「簡略にする（簡素化する）」なども可「**が欠けているものは要素A 2点減点**」。
- ・「簡略」を「簡単」としているものは**要素A 1点減点**。

要素B 張昭の意見に 1点

「張昭に」「意見（提言・考え）」のみも可とする。

・「意見」は「張昭が（民間の）人々から聞いたこと」の意味でも可。

・「張昭」は「張」「昭」のみも可とする。

要素C 信頼している 1点

- ・（皇帝＝孫権が）信頼している「重視している」の意であれば可。
- ・「すぐれた人物である」「見識のある」なども可。

要素D 顧雍も賛成したから 2点

- ・「顧雍が」も可。
- ・「顧雍」は「顧」「雍」のみも可とする。
- ・「賛成した」は「同意した」「同じであった」なども可。

◆「帝が信頼している顧雍の意見も、刑罰や法令を簡略化すべきだという張昭の意見と同じであったから」のような答え方でもよい。

問6

基準 配点：9点

■形式上の不備

- ・文末表現は基本的には問わない。ただし、「くから」「くので」のように、「どのような人物であったと評価しているか」という設問に対して明らかに不適当な文末表現は**全体から1点減点**。

■模範解答 ※同意表現可。ニュアンスが合っていれば許容。

A 2点

私情を挟まず有能な人物を任用し、

B 2点

民間の提言を奏上して

C 1点

受け入れられても自分の功績としないことで

D 1点

皇帝に重んじられたが、

E 3点

正しいと思うことは譲らない剛直さも持つ

人物。

■採点方法 各要素単独採点

要素A 人材の登用の公正さ 2点

- ・人材の登用において「私情(個人的な感情・好き嫌い)を入れない」ことに触れていないものは**要素A 1点減点**。
- ・「有能な者(ふさわしい者)を任用する」「適材適所に登用する」ことに触れていないものは**要素A 1点減点**。

**素A 1点減点。**

要素B 民間にも意見を求め、(よいものは)皇帝に奏上する 2点

- ・「民間の(民間にも意見を求める)」の要素がないものは**要素B 1点減点**。
- ・「皇帝に奏上する(報告する・提言する)」の要素がないものは**要素B 1点減点**。
- ・「皇帝」は「帝」「孫権」も可。
- ・「皇帝」を「王」としているものは**要素B 加点1点減点**。

要素C 提言が受け入れられても自分の功績としない 1点

・「提言が受け入れられたら皇帝の功績とする」という意味の表現でもよい。

・民間の提言の奏上のことに関係づけなくても、「謙虚な態度」「皇帝を尊重する態度」という意味の表現であれば可。

要素D 皇帝から尊重された 1点

・「皇帝」は「帝」「孫権」も可。

・「尊重」は「信頼」なども可。

・「王」は要素D加点数なし(要素D=0点)。

要素E 正しいと思うことは譲らない 3点

・「所執者正」＝自分が正しいと思うことは(相手が皇帝であっても)譲らない」を踏まえた表現があれば可。

・「剛直さ」のような一般化表現はなくても可。

・「剛直さ」のような一般化表現のみで、それを具体的に説明していないものは要素E2点減点。

問7

基準 配点：4点(1点×4)

■形式上の不備

・( ) の有無は問わない。

・5つ以上の記号を選んでいるものは正解の有無にかかわらず問7全体0点。

■模範解答

(イ)(オ)(カ)(コ)

■採点方法

各1点